

緑のボランティア通信

2022.10.15 No.80

パワーアップした

こども黄緑クラブ特集！

今年は
大人編も開催!!

「こども黄緑クラブ」とは、“川崎市の身近な環境で、次世代を担うこどもたちに、緑と親しみながら自然の中でおもいきり体を動かし、豊かなふるさと川崎を体験してもらおう”というイベントです。今年度は対象を小中学生はもちろん、幼児から大人まで広げ、毎月開催しパワーアップしました。今号ではセミをテーマにした7月と8月の開催風景を通して、こども黄緑クラブをご紹介します。

7月 「セミのぬけがら調査 & 標本づくり」 (小中学生対象)

講座の前半はセミのぬけがらを集めて調査を行いました。後半は集めたぬけがらも使った、川崎でみられるセミの標本づくりを行いました。世界に一つだけの標本を、みんな上手に作る事ができました。



ぬけがら調査



標本づくり



ぬけがら標本

8月 「セミの羽化観察」 (小中学生対象)

セミの羽化が始まる日暮れまで、セミのぬけがら調査を行いました。あたりが暗くなったところに、講師の佐々木洋先生に羽化観察の解説を頂きながら羽化を観察しました。この日はセミの羽化がとても多く大満足の観察会でした。



ぬけがら調査



羽化観察



セミの羽化

総勢51名の方にぬけがら調査をご協力いただき、集めた総数は1,284個となりました。ぬけがら調査の詳しい結果は、当協会HPでご覧いただけます。

これから参加できる「こども黄緑クラブ」

WEB申込はこちらから▶

スケジュールや開催内容は、各区役所等のチラシや当協会HPをご覧ください。
開催日の3週間前まで応募可能で、ハガキもしくは協会HPから申込が可能です。



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

パワーアップしたこども黄緑クラブ特集！	1
開催報告 (6月～8月)	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

開催報告（6月～8月）

第18回わがまち花と緑のコンクール表彰式

6月25日（土）に第18回わがまち花と緑のコンクール表彰式を中原市民館にて開催しました。コロナ禍のため3年ぶりとなる表彰式ですが、しっかりと感染対策を取ったうえでの開催となりました。

市長より入賞者に賞状を頂き、その後、記念講演を行いました。その他にも全応募作品の展示を行うなど、すばらしい表彰式となりました。

第18回 わがまち花と緑のコンクール



18回 わがまち花と緑のコンクール



里山ボランティア育成講座「かわさきの森づくり」



作業前



作業後

かわさきの森づくりでは6月に栗山山王山特別緑地（麻生区）、7月に東生田緑の保全地域（多摩区）、8月に野川十三坊台特別緑地（宮前区）で講座を行いました。主な作業は下草刈りや竹林整備等です。

写真は東生田緑の保全地域での作業前・作業後の写真です。

たねダンゴ実践講座 2022 夏編

たねダンゴ実践講座は定員を超える応募をいただいている人気の講座です。5月に講座でたねダンゴを花壇に植え、以後毎月1回お手入れワークショップを開催しています。お手入れワークショップでも、講師にNPO法人グリーンワークス代表牧野ふみよ先生をお招きし、楽しく充実した講座となっております。初めての方もお手入れワークショップに参加できますので是非協会までご連絡ください。



6月



8月

上記講座はもちろん、そのほかの事業も開催しております。当協会ホームページをご確認の上ご応募ください。

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

ライブタウン百合ヶ丘グリーンクラブ(2020年設立)

活動場所 藤和ライブタウン百合ヶ丘Ⅱマンション敷地内(多摩区南生田2-24)
交通案内 小田急線「生田駅」または「百合丘駅」よりバス5分



当会はマンション敷地内で活動している団体で、愛称は「LGC(ライブタウン グリーン クラブ)」です。

当マンションは空地率が高く花壇も雑草が生い茂り20年以上も手付かすのままでした。コミュニティカフェや管理組合の話し合いの中で「敷地内の美化と住民の交流」を目指して生まれたのがLGCです。

設立まで1年の準備期間を経て、メンバーは住民有志21名が活動中です(20年から管理組合・環境委員会の下部組織となりました)。

主な活動は①花壇作り11ヶ所②ダンボールコンポスの生ゴミ堆肥作り



③川崎市公園緑地協会主催

の「たねダンゴ講座」参加④環境委員会と協力(蚊の駆除、植栽剪定手伝い、クリスマスイルミネーション等)です。

活動していて大変なことは夏の水やりです。傾斜や階段の多い敷地なので50mホースリールを使っていますが重労働です。よかったことは、花壇ができたことで「きれいですね。楽しみですありがとう」と声をかけていただくことで、道ゆく人との会話も増えました。コロナ過で制限が多い活動でしたが、こもりがちな身体とこころのリフレッシュになり「癒しの空間」をつくることができました。

今後は住民参加のイベントを通してメンバーの増員も図りたいと考えています。(今井田 恵方)



やまぼうしガーデン(2019年登録)

活動場所 有馬やまぼうし公園(宮前区有馬8丁目19)
交通案内 東急田園都市線「鷺沼駅」徒歩15分



有馬やまぼうし公園は大型マンションの一角に造られた小さな公園です。しかし、年月が経つにつれ雑草が生い茂り、荒れた公園となってしまいました。これでは子供たちがかわいそうと近隣の有志が集まり花壇作りが始まりました。区役所を始め沢山の方々のお陰で花壇作りも順調に進み、鮮やかな花々が咲く花壇へと変身する事が出来ました。ところが一年が過ぎ、人手と費用面で維持管理が難しいため、宿根草を中心とした花壇作りを始めました。手間の掛からない自然風な花壇作りはメリットだけではなく、デメリットもありました。一番は切り戻した植物の行き場です。ゴミに出す事は簡単ですが環境を考え 野積みにして様子を見ていたところ 少しずつですが腐食が進んでいる事に気付きました。色々調べて行くうちに無農薬、無肥料、不耕起の「自然農法」に行きつきました。野菜でも花でもこの方法は地球にも優しい、これぞ正にSDGs! 雑草マルチに米糠を撒き雑草堆肥作り、虫達や微生物の力を借りての花壇作りが始まりました。時間はかかりますが以前より作業も気持ちも楽になりました。準備が出来たら様々な種(自家採種した物や頂いた種)で子供達と一緒に粘土団子を作り、蒔いてみたいと考えています。今からどんな花壇になるか楽しみです。



やまぼうしガーデン
Facebook
「Rose walk gardeners」
はこちらのQRコードから



有馬やまぼうし公園の経過はFacebookで発信しております。ご覧頂けたら嬉しいです。(大島 京子)

いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ワンポイント

益虫について

花壇で見かける様々な虫たちですが、すべてが害虫ではありません。
カマキリなどはバッタや葉を食害する幼虫を食べてくれるので、助かりますね。
他にもテントウムシがアブラムシを食べてくれる益虫として有名です。
たしかにナナホシテントウムシはアブラムシを食べてくれますが、
害虫となるテントウムシ類もいますので注意が必要です。
どんな益虫がいるのか花壇を探してみてくださいね。

No.35

ニーレンベルギア * 1年草・多年草

* 開花期 5月～10月

* 花言葉 心が和む



日向を好む植物です。
色は白・薄紫・濃紫などです。
大きさは購入時15cm程度か
と思いますが、育てていくと、
30cm位にはなります。

従来的一年草以外に栄養系の
物も多く出回るようになりました。

開花期はとても長いですが、蒸れに弱い印象があり
ます。茶色くなった葉は除去してあげた方が良いと思
います。増やし方は挿し木です。

伸びすぎてピンチした時は梅雨時期までに挿してみてください。



No.36

ハツユキソウ * 1年草

* 開花期 7月～10月

* 花言葉 祝福



ユーホルピアの名称で入荷す
る初雪草。寄せ植えに入れると、
すごく良いと思います。

販売時は20cm程度ですが、
すくすく伸びます。

ある程度のところで、摘心し
てあげると枝分かれしてくれます。日照不足は生育に
よくないので、明るい所で育てましょう。

ウドンコ病やハダニ・アブラムシが付くので定期的
な対処をおすすめします。

カラーリーフとして人気のある植物ですが、お花も咲きます。

花色は白系のみで、小さなかわいい花が咲きます。



(株) 泉樹園、手塚賀久

公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。
このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。